

倉吉市中江地区「集落営農ビジョン」

(人材確保型支援 ・ 規模拡大・発展型支援 ・ 地域計画実現型支援)

※該当する支援メニューに○を記入

作成日： 令和 7 年 5 月 1 4 日

修正日： 年 月 日

市町村名	倉吉市	組織名	農事組合法人なかえ
------	-----	-----	-----------

1 地区の範囲

倉吉市中江

2 地区の概要

水田面積	3 6 . 5 h a	主な栽培作物	水稻、大豆
農家数	4 2 戸	地域内の農業を担う者の経営体数	1 経営体
認定農業者数	1 経営体	農業支援サービス事業体の経営体数	経営体

3 組織の概要

設立時期 (規約等の制定日) 令和 2 年 12 月 21 日	構成農家数	18 戸
組織形態 (該当形態に○を記入) ・ 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型		
役員の数・年齢	4 人 (平均年齢	73 歳)
オペレーターの数・年齢	2 人 (平均年齢	77 歳)
その他集落営農活動に参画している数・年齢	6 人 (平均年齢	72 歳)

4 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

(1) 担い手の明確化及び水田利用集積目標

※考え方 (担い手をどう育成し確保していくか。農地賃借、機械の共同利用、作業受委託、生産の組織化などについて。)

(農) なかえは、組合員の農業生産についての協業を図ることにより、その生産性を向上させ、組合員の共同の利益を増進することを目的とするため、令和 2 年 12 月 21 日に設立した組織です。中江集落がある上北条地区は倉吉市の北東に位置し、平地に広がる水田で水稻・大豆・二条大麦の耕作が盛んな地域です。

(農) 法人なかえは中江集落の水田を中心に水稻と大豆を耕作しており、地区外の農地を併せて約 2 2 ha を経営している。

上北条地区は担い手となる認定農業者が多く、地区全体の約 9 割を担い手が耕作している。

しかし、その担い手も高齢化が進み、近年では個人の認定農業者の経営規模は縮小傾向にあり、今後の農地の管理に不安を感じている。

また、これまで個人で耕作してきた農家についても、離農の声が多く聞こえ始め、担い手の受入のニーズは高まっている。

このような地域の課題を解決するため、(農) なかえは中江集落内の農地集積をより一層進めると共に、担い手が手放す地区外の農地を受け入れ、経営規模を拡大する方針です。

(2) 水田の作付計画（水稻以外の作物を含む）、活用方針・具体策
 ※考え方（今後伸ばしていく作物は何か。団地化・ブロックローテーション。作物の品質向上。）

現在は水稻 17.5ha（ひとめぼれ・きぬむすめ）、大豆 4.2ha をブロックローテーションで耕作している。今後の経営規模拡大に対応するため、収穫期が分散するよう品種構成を検討していく。

(3) 農業用機械施設の効率利用
 ※考え方（省力・低コスト化に向け、機械・施設をどのように有効利用していくか。今後整備が必要なもの、JAが整備している施設をどのようにするか。）

現在使用している機械は全て集落内の農業者より借入しているため、作業効率が悪く、適期の収穫を逃すなど高品質の農産物の生産に支障がある他、リース料も発生している。今後は更に経営規模を拡大するため、より性能の高い機械を法人所有とすることで適期での収穫が可能となり、作業効率の向上も図られる。

(4) 人材の確保、後継者育成に関する方針
 ※考え方（新たな人材をどのように確保し、どのような方法で育成していくか。）

オペレーターは 2 名（80 歳代 1 名、70 歳代 1 名）であるが、他にアルバイトを雇っている。今後の規模拡大や労働条件の改善のためには増員が必要である。新たに 1 名を増員し、育成していき常雇い 3 名の体制としていく。組合員への啓蒙やオペの獲得ため大型農機の免許取得補助他、アルバイトの正規雇用も検討する。

(5) 経営多角化の方針・具体策
 ※考え方（どのような手法で多角化を図るか。新規作物の導入、販路拡大に向けた自主的な取組みなどについて。）

I 人材確保型支援実施計画 ※規模拡大・発展支援型支援のみを実施する場合は省略

1 人材確保のための取組方針

項目		実施年度		
		○年度	○年度	○年度
人材育成研修	実務研修			
	免許取得			
	その他			
集落営農活動への参画				

2 畦畔管理の省力化のための取組

(1) グランドカバープランツ施工計画

施工場所：

施工対象面積（畦畔実面積）： ha

本田（＝水張）面積： ha

年数	内容	面積 (ha)	金額 (円)	実施年度
1 年目				

2 年目				
3 年目				

注 1) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

(2) 畦畔管理用機械導入計画

(機械利用対象畦畔面積 ha、本田 (=水張) 面積 ha)

機械施設名	規格能力	台数等	金 額 (円)	導入予定年月

(3) 畦畔管理用作業の状況

内 容	現 状 (年 度)	事業実施後 (年 度)
取組対象 (予定) 面積 (ha)		
取組対象面積当たり年間 作業時間		

注 1) 取組対象圃場について記載すること。

2) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

3 園芸品目の試作

項 目	実施年度		
	○年度	○年度	○年度
園芸品目の試作			

4 販わい活動への参画促進

項 目	実施年度		
	○年度	○年度	○年度
販わい活動への参画促進			

II 規模拡大・発展型支援実施計画

※人材確保型支援のみを実施する場合は省略

1 集積 (経営、機械の共同利用及び作業受託) の目標

項 目		現 状	目 標 令和 10 年度
農 地 の 集 積	地区内集積面積 A	17.6ha	20.6ha
	対象水田面積 B	36.5ha	36.5ha
	集積率 A/B	48.2%	56.4%

地区外集積面積 C	4. 1 h a	4. 9 h a
組織集積面積 A + C	2 1. 7 h a	2 5. 5 h a
経営の多角化への取組		

注 1) 経営の多角化への取組は、該当する場合のみ記載すること。
 注 2) 目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から 3 年以内のいずれかの年度で設定すること。
 注 3) 経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表 1、2）により作成すること。

2 農業用機械施設の整備方針

機械施設名	規格能力	台数等	金 額 (円)	導入予定年 月	本事業による 導入機械に○
水稲コンバイン	4 条 72PS	1 台	11, 123, 000	R7. 9	○
トラクター	80PS	1 台	12, 369, 000	R9. 3	○
田植機	6 条	1 台	4, 181, 000	R10. 3	○
ブームスプレー ヤ	23PS	1 台	6, 144, 400	R10. 3	○

Ⅲ 添付資料

1 人材確保型支援

- (1) 研修計画一覧（参考様式）
- (2) 規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）

2 規模拡大・発展型支援

- (1) 集積状況一覧（別表 1、2）
- (2) 機械の利用計画（別紙）
- (3) 規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）